

平成22年度  
第2回市政モニターアンケート

住宅の耐震化について

北九州市総務市民局広聴課

## 目 次

調査の概要	1
市政モニターの構成	1
調査結果	2
(1) 北九州市耐震改修促進計画の認知度	2
(2) 北九州市耐震改修促進計画を知るきっかけ	3
(3) 住宅のタイプについて	4
(4) 住宅の築年数について	5
(5) 阪神・淡路大震災時の建物被害の認知度	6
(6) 今後の地震について	7
(7) 北九州市内の活断層の認知度	8
(8) 自宅の耐震性能について	9
(9) 自宅の地震対策について	10
(10) 地震対策支援制度の認知度	11
(11) 地震対策支援制度を知るきっかけ	12
(12) 自宅の耐震診断や耐震補強について	13
(13) 自宅の耐震診断や耐震補強を考えない理由	14
(14) 今後取り組んで欲しい地震対策	15
(15) 住宅の耐震化に関する意見・要望	16
全体考察	18

## 調査の概要

調査対象者	市政モニター 150人		
回答者数	140人(回収率 93.3%)		
調査実施日	平成22年6月18日~平成22年7月2日		
実施方法	調査票による郵送及びインターネット調査		
調査実施課	総務市民局広聴課	582-2525	
調査依頼課	建築都市局建築指導課	582-2531	

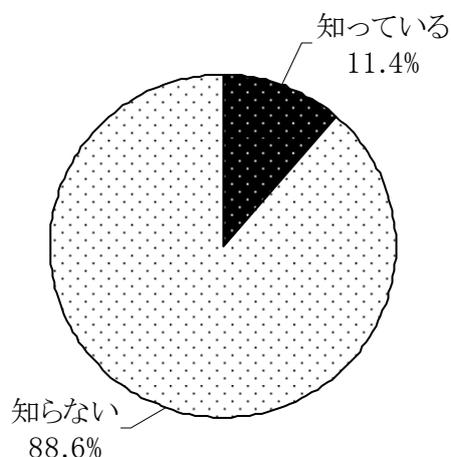
## 市政モニターの構成

区分	合計	男性	女性	区分	合計	男性	女性
全体	150 (100.0%)	50 (33.3%)	100 (66.7%)	区別			
				門司区	17 (11.3%)	4 (2.7%)	13 (8.7%)
20歳代	22 (14.7%)	6 (4.0%)	16 (10.7%)	小倉北区	27 (18.0%)	6 (4.0%)	21 (14.0%)
30歳代	34 (22.7%)	8 (5.3%)	26 (17.3%)	小倉南区	33 (22.0%)	14 (9.3%)	19 (12.7%)
40歳代	27 (18.0%)	7 (4.7%)	20 (13.3%)	若松区	13 (8.7%)	2 (1.3%)	11 (7.3%)
50歳代	26 (17.3%)	6 (4.0%)	20 (13.3%)	八幡東区	13 (8.7%)	7 (4.7%)	6 (4.0%)
60歳代	26 (17.3%)	12 (8.0%)	14 (9.3%)	八幡西区	33 (22.0%)	15 (10.0%)	18 (12.0%)
70歳以上	15 (10.0%)	11 (7.3%)	4 (2.7%)	戸畑区	14 (9.3%)	2 (1.3%)	12 (8.0%)

数値の単位未満は四捨五入を原則としましたので、総数と内容の合計は一致しない場合があります。

### Ⅲ 調査結果

問1 あなたは、建築物耐震化の目標や基本方針等を定めた「北九州市耐震改修促進計画」(平成21年3月策定)をご存知ですか。



		回答者数	知っている	知らない
全体		140人	11.4%	88.6%
性別	男性	48人	14.6%	85.4%
	女性	92人	9.8%	90.2%
年齢別	20歳代	17人	0.0%	100.0%
	30歳代	33人	12.1%	87.9%
	40歳代	27人	0.0%	100.0%
	50歳代	24人	0.0%	100.0%
	60歳代	25人	32.0%	68.0%
	70歳以上	14人	28.6%	71.4%
区別	門司区	17人	17.6%	82.4%
	小倉北区	24人	12.5%	87.5%
	小倉南区	30人	16.7%	83.3%
	若松区	13人	0.0%	100.0%
	八幡東区	13人	7.7%	92.3%
	八幡西区	30人	13.3%	86.7%
	戸畑区	13人	0.0%	100.0%

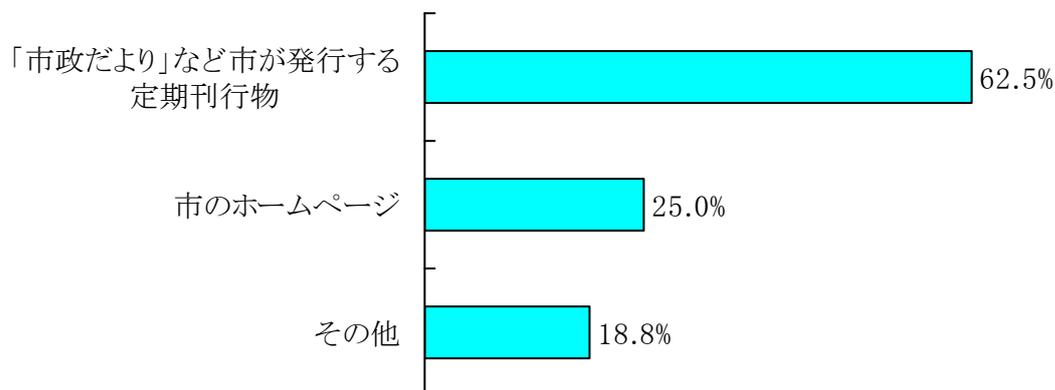
全体として、大半の方(88.6%)が「知らない」と回答している。

年齢別では、60歳以上の方の3割程度が「知っている」と回答し、その他の年齢層では、ほとんどの方が「知らない」と回答している。

行政区別では、若松区、戸畑区で「知っている」と回答した人が0%と、認知度が低く、その他の行政区では大きなばらつきは見られない。

問2【問1で「1 知っている」と回答した方にお尋ねします】

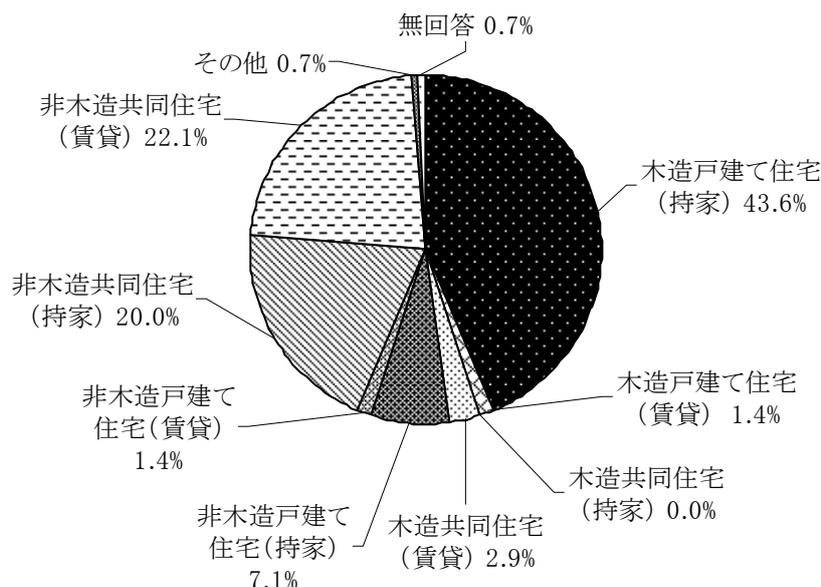
あなたは、「北九州市耐震改修促進計画」について、どのような方法で知りましたか。  
《複数選択可》



		回答者数	「市政だより」など市が発行する定期刊行物	市のホームページ	その他
全体		16人	62.5%	25.0%	18.8%
性別	男性	7人	57.1%	28.6%	14.3%
	女性	9人	66.7%	22.2%	22.2%
年齢別	20歳代	0人	—	—	—
	30歳代	4人	50.0%	50.0%	25.0%
	40歳代	0人	—	—	—
	50歳代	0人	—	—	—
	60歳代	8人	62.5%	12.5%	25.0%
	70歳以上	4人	75.0%	25.0%	0.0%
区別	門司区	3人	66.7%	33.3%	33.3%
	小倉北区	3人	66.7%	0.0%	33.3%
	小倉南区	5人	80.0%	0.0%	20.0%
	若松区	0人	—	—	—
	八幡東区	1人	100.0%	0.0%	0.0%
	八幡西区	4人	25.0%	75.0%	0.0%
	戸畑区	0人	—	—	—

問1で「知っている」と回答した方が、「北九州市耐震改修促進計画」をどのようにして知ったかについては、「市政だより」など市が発行する定期刊行物によるものが半数以上（62.5%）であった。このうち、年齢別でみると、60歳代、70歳代と、高い年齢層における割合が高い。

### 問3 現在お住まいの住宅のタイプについてお伺いします。



	回答者数	木造戸建て住宅 (持家)	木造戸建て住宅 (賃貸)	木造共同住宅 (持家)	木造共同住宅 (賃貸)	非木造戸建て住宅 (持家)	非木造戸建て住宅 (賃貸)	非木造共同住宅 (持家)	非木造共同住宅 (賃貸)	その他	無回答	
全体	140人	43.6%	1.4%	0.0%	2.9%	7.1%	1.4%	20.0%	22.1%	0.7%	0.7%	
性別	男性	48人	54.2%	2.1%	0.0%	2.1%	12.5%	0.0%	14.6%	12.5%	0.0%	2.1%
	女性	92人	38.0%	1.1%	0.0%	3.3%	4.3%	2.2%	22.8%	27.2%	1.1%	0.0%
年齢別	20歳代	17人	29.4%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%	5.9%	52.9%	0.0%	5.9%
	30歳代	33人	36.4%	0.0%	0.0%	12.1%	6.1%	6.1%	12.1%	24.2%	3.0%	0.0%
	40歳代	27人	33.3%	3.7%	0.0%	0.0%	3.7%	0.0%	37.0%	22.2%	0.0%	0.0%
	50歳代	24人	45.8%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	25.0%	20.8%	0.0%	0.0%
	60歳代	25人	52.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.0%	0.0%	20.0%	12.0%	0.0%	0.0%
	70歳以上	14人	78.6%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%
区別	門司区	17人	52.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	17.6%	29.4%	0.0%	0.0%
	小倉北区	24人	20.8%	4.2%	0.0%	0.0%	4.2%	4.2%	41.7%	25.0%	0.0%	0.0%
	小倉南区	30人	60.0%	0.0%	0.0%	3.3%	6.7%	0.0%	10.0%	20.0%	0.0%	0.0%
	若松区	13人	61.5%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	23.1%	0.0%	0.0%
	八幡東区	13人	46.2%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	7.7%	30.8%	0.0%	0.0%	7.7%
	八幡西区	30人	43.3%	0.0%	0.0%	6.7%	16.7%	0.0%	20.0%	13.3%	0.0%	0.0%
	戸畑区	13人	15.4%	0.0%	0.0%	7.7%	7.7%	0.0%	7.7%	53.8%	7.7%	0.0%

\* 「非木造」とは、鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄骨造、軽量鉄骨造、ブロック造などの構造のものをいいます。

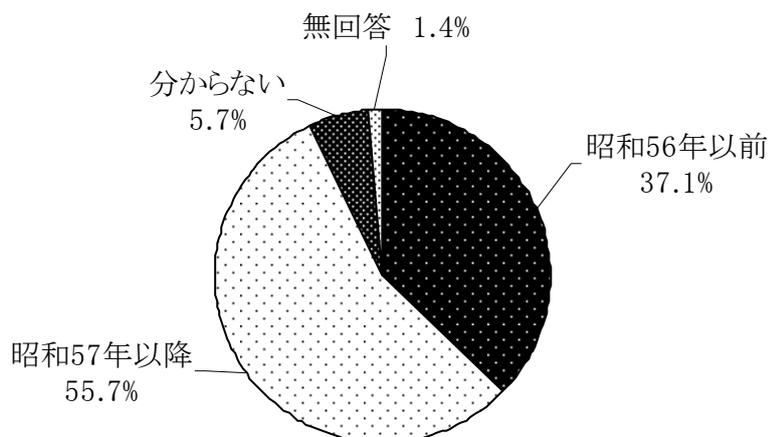
\* 「共同住宅」とは、長屋やアパート、マンション等、1棟に2戸以上の住戸が存在する建物のことを言います。

全体的には、「木造戸建て住宅 (持家)」(43.6%)が最も多く、次いで「非木造共同住宅 (賃貸)」(22.1%)、「非木造共同住宅 (持家)」(20.0%)の順となっている。

年齢別では50歳以上の年齢層で「木造戸建て住宅 (持家)」の割合が高く、20歳代、40歳代では「非木造共同住宅 (賃貸)(持家)」の割合が高くなっている。

行政区別では小倉南区および若松区において「木造戸建て住宅 (持家)」の割合が約6割と高く、小倉北区では「非木造共同住宅 (持家)」(41.7%)、戸畑区では「非木造共同住宅 (賃貸)」(53.8%)の割合がそれぞれ高くなっている。

問4 現在のお住まいは、いつごろ建築された建物ですか。



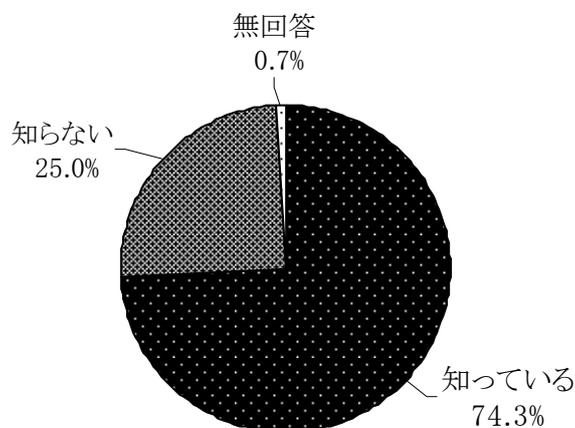
		回答者数	昭和56年以前	昭和57年以降	分からない	無回答
全体		140人	37.1%	55.7%	5.7%	1.4%
性別	男性	48人	56.3%	37.5%	4.2%	2.1%
	女性	92人	27.2%	65.2%	6.5%	1.1%
年齢別	20歳代	17人	23.5%	52.9%	17.6%	5.9%
	30歳代	33人	33.3%	60.6%	6.1%	0.0%
	40歳代	27人	14.8%	81.5%	3.7%	0.0%
	50歳代	24人	41.7%	50.0%	8.3%	0.0%
	60歳代	25人	44.0%	52.0%	0.0%	4.0%
	70歳以上	14人	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%
区別	門司区	17人	29.4%	64.7%	5.9%	0.0%
	小倉北区	24人	37.5%	54.2%	8.3%	0.0%
	小倉南区	30人	36.7%	53.3%	6.7%	3.3%
	若松区	13人	38.5%	53.8%	7.7%	0.0%
	八幡東区	13人	53.8%	38.5%	0.0%	7.7%
	八幡西区	30人	33.3%	63.3%	3.3%	0.0%
	戸畑区	13人	38.5%	53.8%	7.7%	0.0%

全体的には「昭和57年以降」(55.7%)に建築されたものが約半数を占めている。

年齢別では「昭和56年以前」に建築されたものは、70歳以上で85.7%と最も多く、次いで60歳代で44.0%、50歳代で41.7%の順となっている。「昭和57年以降」に建築されたものは40歳代で81.5%と最も多く、次いで30歳代で60.6%、20歳代で52.9%の順となっている。

行政区別では「昭和56年以前」に建築されたものが八幡東区で53.8%、「昭和57年以降」に建築されたものが門司区64.7%、八幡西区で63.3%と、それぞれ高い割合を占めている。

問5 昭和56年6月1日の建築基準法改正により耐震設計基準法改正により耐震建設基準が見直されました。阪神・淡路大震災時には、法改正前の基準で建てられた建物（住宅）に被害が多く見られました。  
あなたはこのことについてご存知ですか。



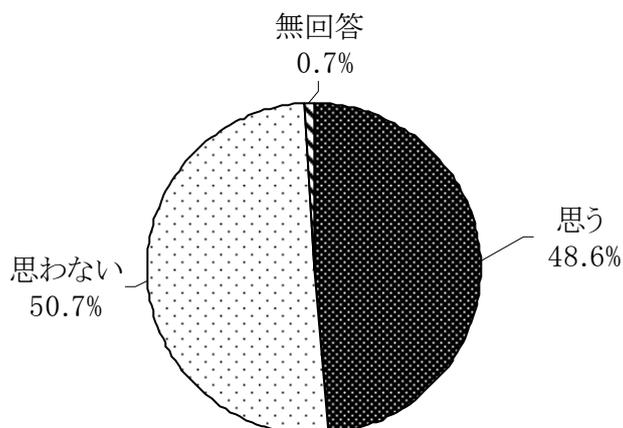
		回答者数	知っている	知らない	無回答
全体		140人	74.3%	25.0%	0.7%
性別	男性	48人	72.9%	27.1%	0.0%
	女性	92人	75.0%	23.9%	1.1%
年齢別	20歳代	17人	52.9%	47.1%	0.0%
	30歳代	33人	72.7%	27.3%	0.0%
	40歳代	27人	70.4%	29.6%	0.0%
	50歳代	24人	79.2%	20.8%	0.0%
	60歳代	25人	88.0%	8.0%	4.0%
	70歳以上	14人	78.6%	21.4%	0.0%
区別	門司区	17人	76.5%	23.5%	0.0%
	小倉北区	24人	70.8%	29.2%	0.0%
	小倉南区	30人	76.7%	20.0%	3.3%
	若松区	13人	69.2%	30.8%	0.0%
	八幡東区	13人	92.3%	7.7%	0.0%
	八幡西区	30人	76.7%	23.3%	0.0%
	戸畑区	13人	53.8%	46.2%	0.0%

全体では74.3%の方が「知っている」と回答している。

年齢別では、20歳代で52.9%、60歳代で88.0%と年齢層によりばらつきはあるものの、どの年齢層も半数以上の方が「知っている」と回答している。

行政区別においても、戸畑区で53.8%、八幡東区で92.3%と、ばらつきはあるものの、どの行政区も半数以上の方が「知っている」と回答している。

問6 あなたは、今後、自分が住んでいる地域（北九州市）で、福岡西方沖地震（震度6弱）と同規模以上の地震を体験すると思いますか。



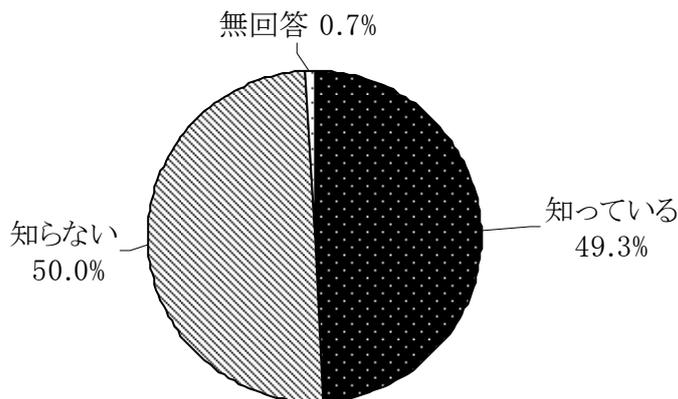
		回答者数	思う	思わない	無回答
全体		140人	48.6%	50.7%	0.7%
性別	男性	48人	50.0%	50.0%	0.0%
	女性	92人	47.8%	51.1%	1.1%
年齢別	20歳代	17人	47.1%	52.9%	0.0%
	30歳代	33人	39.4%	60.6%	0.0%
	40歳代	27人	66.7%	33.3%	0.0%
	50歳代	24人	54.2%	45.8%	0.0%
	60歳代	25人	40.0%	56.0%	4.0%
	70歳以上	14人	42.9%	57.1%	0.0%
区別	門司区	17人	47.1%	52.9%	0.0%
	小倉北区	24人	33.3%	66.7%	0.0%
	小倉南区	30人	40.0%	56.7%	3.3%
	若松区	13人	46.2%	53.8%	0.0%
	八幡東区	13人	69.2%	30.8%	0.0%
	八幡西区	30人	56.7%	43.3%	0.0%
	戸畑区	13人	61.5%	38.5%	0.0%

全体では、48.6%の方が、今後、福岡西方沖地震（震度6弱）と同規模以上の地震を経験すると「思う」と回答している。これは、「思わない」（50.7%）と回答した方と、ほぼ同じ割合になっている。

年齢別では「思う」のうち40歳代（66.7%）が最も多く、「思わない」では30歳代（60.6%）が最も多かった。

行政区別では「思う」のうち八幡東区（69.2%）が最も多く、「思わない」では小倉北区（66.7%）が最も多かった。

問7 あなたは、北九州市内に活断層があることをご存知ですか。



		回答者数	知っている	知らない	無回答
全体		140人	49.3%	50.0%	0.7%
性別	男性	48人	47.9%	52.1%	0.0%
	女性	92人	50.0%	48.9%	1.1%
年齢別	20歳代	17人	5.9%	94.1%	0.0%
	30歳代	33人	33.3%	66.7%	0.0%
	40歳代	27人	59.3%	40.7%	0.0%
	50歳代	24人	62.5%	37.5%	0.0%
	60歳代	25人	64.0%	32.0%	4.0%
	70歳以上	14人	71.4%	28.6%	0.0%
区別	門司区	17人	41.2%	58.8%	0.0%
	小倉北区	24人	54.2%	45.8%	0.0%
	小倉南区	30人	43.3%	53.3%	3.3%
	若松区	13人	46.2%	53.8%	0.0%
	八幡東区	13人	69.2%	30.8%	0.0%
	八幡西区	30人	46.7%	53.3%	0.0%
	戸畑区	13人	53.8%	46.2%	0.0%

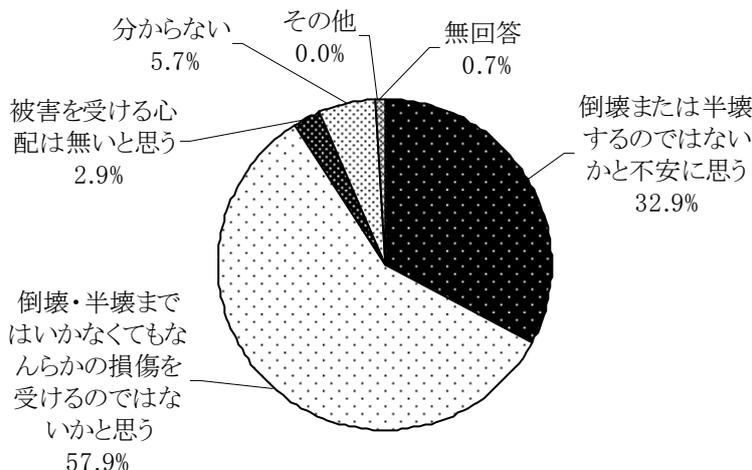
\* 「活断層」とは、約200万年前から現在までの間に繰り返し動いたとみなされ、将来も活動する可能性のある断層のことを言います。

ちなみに、平成7年に発生し大きな被害をもたらした兵庫県南部沖地震（阪神・淡路大震災）は神戸市付近の活断層が引き起こした「内陸直下型地震」でした。

全体では、49.3%の方が、北九州市内に活断層があることを「知っている」と回答している。これは、「知らない」（50.0%）と回答した方と、ほぼ同じ割合になっている。

年齢別では「知っている」のうち70歳以上（71.4%）が最も高く、年齢層が高い方が知っている割合も高くなっている。逆に「知らない」では20歳代（94.1%）を筆頭に、年齢層が低い方が知らない割合が高くなっている。行政区別ではあまり大きな差は見られなかった。

問8 北九州市において、兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）や福岡県西方沖地震などと同規模の大地震が起きた場合、ご自宅の耐震性能についてどう思いますか。

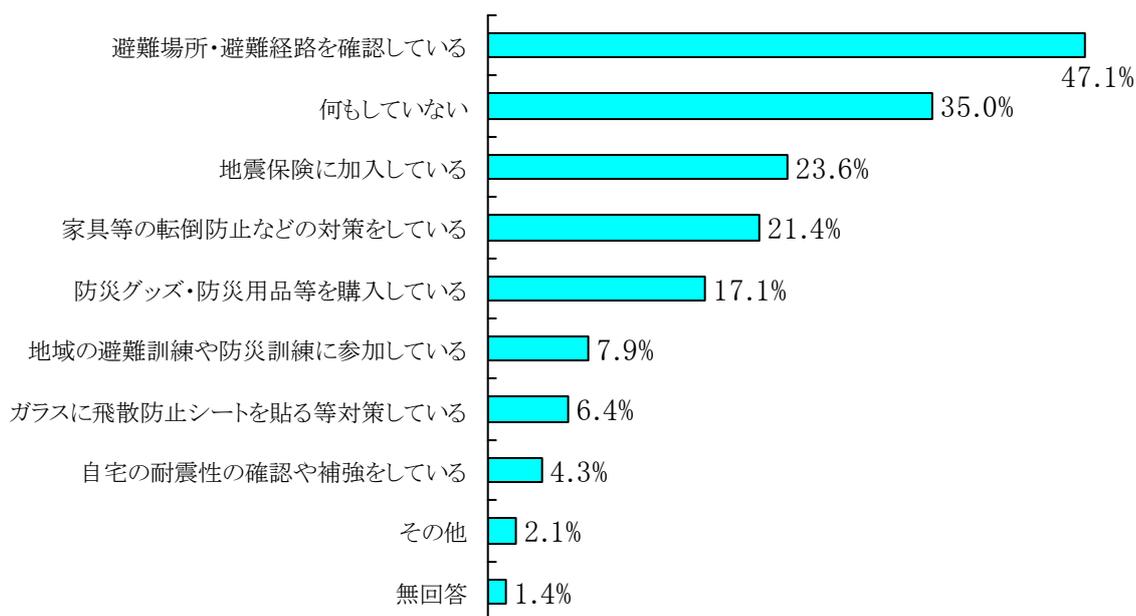


		回答者数	倒壊または半壊するのではないかと不安に思う	倒壊・半壊まではいかなくともなんらかの損傷を受けるのではないかとと思う	被害を受ける心配は無いと思う	分からない	その他	無回答
全体		140人	32.9%	57.9%	2.9%	5.7%	0.0%	0.7%
性別	男性	48人	33.3%	60.4%	2.1%	4.2%	0.0%	0.0%
	女性	92人	32.6%	56.5%	3.3%	6.5%	0.0%	1.1%
年齢別	20歳代	17人	41.2%	58.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	33人	39.4%	57.6%	3.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	40歳代	27人	25.9%	63.0%	3.7%	7.4%	0.0%	0.0%
	50歳代	24人	41.7%	41.7%	4.2%	12.5%	0.0%	0.0%
	60歳代	25人	24.0%	56.0%	4.0%	12.0%	0.0%	4.0%
	70歳以上	14人	21.4%	78.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
区別	門司区	17人	47.1%	41.2%	0.0%	11.8%	0.0%	0.0%
	小倉北区	24人	25.0%	70.8%	0.0%	4.2%	0.0%	0.0%
	小倉南区	30人	40.0%	50.0%	3.3%	3.3%	0.0%	3.3%
	若松区	13人	30.8%	61.5%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡東区	13人	30.8%	69.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡西区	30人	23.3%	63.3%	3.3%	10.0%	0.0%	0.0%
	戸畑区	13人	38.5%	46.2%	7.7%	7.7%	0.0%	0.0%

全体では、大半の方（90.8%）が「倒壊または半壊」もしくは「なんらかの損傷を受けるのではないかと」と回答している。

年齢別、行政区別でも、それぞれにおいて8割以上の方が「倒壊または半壊」もしくは「なんらかの損傷を受けるのではないかと」と回答しており、非常に高い数値を示している。また、年齢別、行政区別とも大きなばらつきや差は見られない。

問9 ご自宅において、何か地震対策をしていますか。《複数選択可》

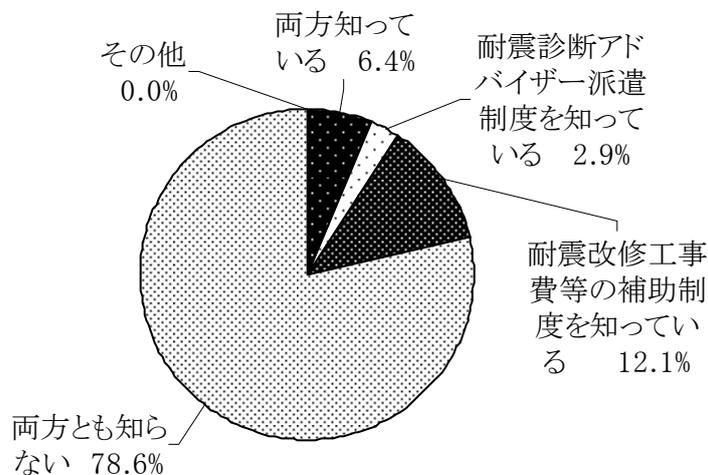


	回答者数	避難場所・避難経路を確認している	何もしていない	地震保険に加入している	家具等の転倒防止などの対策をしている	防災グッズ・防災用品等を購入している	地域の避難訓練や防災訓練に参加している	ガラスに飛散防止シートを貼る等対策している	自宅の耐震性の確認や補強をしている	その他	無回答	
全体	140人	47.1%	35.0%	23.6%	21.4%	17.1%	7.9%	6.4%	4.3%	2.1%	1.4%	
性別	男性	48人	45.8%	25.0%	25.0%	29.2%	14.6%	10.4%	0.0%	2.1%	4.2%	0.0%
	女性	92人	47.8%	40.2%	22.8%	17.4%	18.5%	6.5%	9.8%	5.4%	1.1%	2.2%
年齢別	20歳代	17人	41.2%	35.3%	23.5%	0.0%	17.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	33人	48.5%	30.3%	18.2%	18.2%	15.2%	0.0%	0.0%	6.1%	6.1%	3.0%
	40歳代	27人	48.1%	44.4%	25.9%	22.2%	18.5%	3.7%	3.7%	3.7%	0.0%	0.0%
	50歳代	24人	33.3%	45.8%	25.0%	20.8%	8.3%	12.5%	12.5%	4.2%	0.0%	0.0%
	60歳代	25人	52.0%	36.0%	20.0%	32.0%	28.0%	12.0%	20.0%	4.0%	0.0%	4.0%
	70歳以上	14人	64.3%	7.1%	35.7%	35.7%	14.3%	28.6%	0.0%	7.1%	7.1%	0.0%
区別	門司区	17人	23.5%	52.9%	23.5%	11.8%	17.6%	0.0%	5.9%	5.9%	5.9%	0.0%
	小倉北区	24人	62.5%	25.0%	29.2%	25.0%	8.3%	12.5%	16.7%	0.0%	0.0%	4.2%
	小倉南区	30人	53.3%	30.0%	23.3%	23.3%	16.7%	0.0%	6.7%	3.3%	0.0%	3.3%
	若松区	13人	30.8%	53.8%	23.1%	7.7%	0.0%	15.4%	0.0%	7.7%	7.7%	0.0%
	八幡東区	13人	38.5%	23.1%	30.8%	46.2%	38.5%	15.4%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡西区	30人	50.0%	36.7%	23.3%	16.7%	20.0%	13.3%	3.3%	6.7%	3.3%	0.0%
	戸畑区	13人	53.8%	30.8%	7.7%	23.1%	23.1%	0.0%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%

全体では、「避難場所・避難経路を確認している」(47.1%)と回答した方が最も多く、次いで「何もしていない」(35.0%)、「地震保険に加入している」(23.6%)となっている。「自宅の耐震性の確認や補強をしている」と回答した方は4.3%と最も低い回答になっている。

「自宅の耐震性の確認や補強をしている」と回答した方のうち、年齢別では70歳以上が7.1%で最も高く、20歳代で0.0%となっている。また行政区別では、若松区、戸畑区が7.7%で最も高く、小倉北区、八幡東区では0.0%となっている。

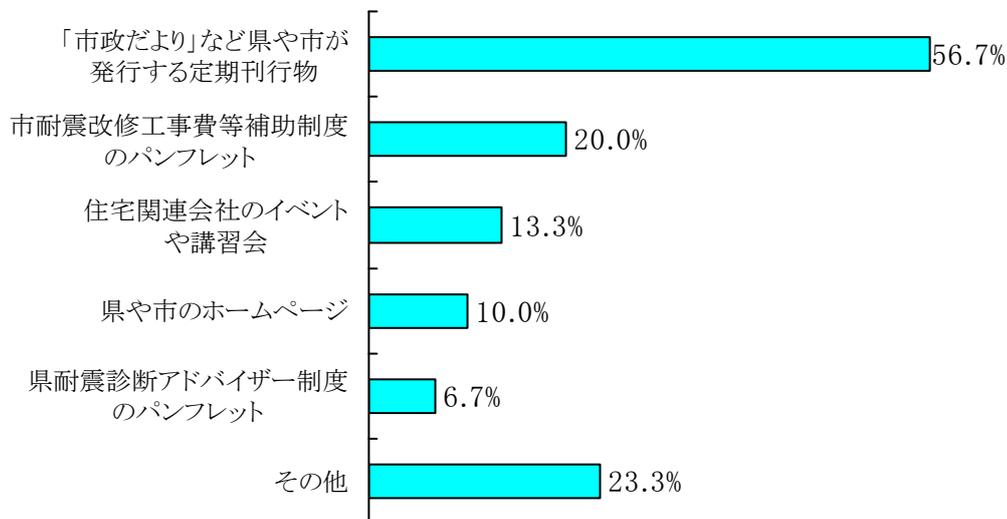
問10 法改正前の基準（旧耐震基準）で建てられた住宅は耐震性が劣る可能性が高いことから、県や市では昭和56年5月以前に建てられた住宅を対象に、「耐震診断アドバイザーの派遣」や「耐震改修工事費等の補助」を行っています。あなたはこのような制度があることについてご存知ですか。



		回答者数	両方知っている	耐震診断アドバイザー派遣制度を知っている	耐震改修工事費等の補助制度を知っている	両方とも知らない	その他
全体		140人	6.4%	2.9%	12.1%	78.6%	0.0%
性別	男性	48人	8.3%	4.2%	10.4%	77.1%	0.0%
	女性	92人	5.4%	2.2%	13.0%	79.3%	0.0%
年齢別	20歳代	17人	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	30歳代	33人	6.1%	3.0%	18.2%	72.7%	0.0%
	40歳代	27人	0.0%	0.0%	7.4%	92.6%	0.0%
	50歳代	24人	4.2%	0.0%	20.8%	75.0%	0.0%
	60歳代	25人	20.0%	8.0%	12.0%	60.0%	0.0%
	70歳以上	14人	7.1%	7.1%	7.1%	78.6%	0.0%
区別	門司区	17人	5.9%	5.9%	11.8%	76.5%	0.0%
	小倉北区	24人	4.2%	0.0%	8.3%	87.5%	0.0%
	小倉南区	30人	10.0%	3.3%	13.3%	73.3%	0.0%
	若松区	13人	0.0%	0.0%	30.8%	69.2%	0.0%
	八幡東区	13人	15.4%	0.0%	30.8%	53.8%	0.0%
	八幡西区	30人	6.7%	6.7%	3.3%	83.3%	0.0%
	戸畑区	13人	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

全体では、県や市で行っている支援制度について78.6%の方が「知らない」と回答している。  
 年齢別では、20歳代で100%の方が「知らない」と回答しており、その他の年齢層でも6～9割と高い割合で「知らない」と回答している。  
 行政区別では、戸畑区で100%の方が「知らない」と回答しており、その他の区でも5～9割と高い割合で「知らない」と回答している。

問11【問10で「1 両方知っている」「2 耐震診断アドバイザー派遣制度を知っている」「3 耐震改修工事費等の補助制度を知っている」のいずれかを回答した方にお尋ねします】(複数選択可)  
 問10に記載しているような行政が行っている地震対策の支援について、どのような方法で知りましたか。《複数選択可》

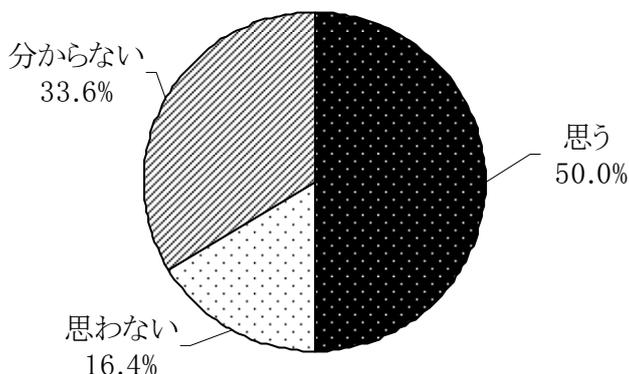


		回答者数	「市政だより」など県や市が発行する定期刊行物	市耐震改修工事費等補助制度のパンフレット	住宅関連会社のイベントや講習会	県や市のホームページ	県耐震診断アドバイザー制度のパンフレット	その他
全体		30人	56.7%	20.0%	13.3%	10.0%	6.7%	23.3%
性別	男性	11人	45.5%	18.2%	27.3%	9.1%	18.2%	36.4%
	女性	19人	63.2%	21.1%	5.3%	10.5%	0.0%	15.8%
年齢別	20歳代	0人	—	—	—	—	—	—
	30歳代	9人	55.6%	22.2%	11.1%	0.0%	11.1%	33.3%
	40歳代	2人	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	50歳代	6人	33.3%	16.7%	16.7%	16.7%	0.0%	33.3%
	60歳代	10人	80.0%	20.0%	10.0%	0.0%	10.0%	10.0%
	70歳以上	3人	33.3%	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%	33.3%
区別	門司区	4人	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%
	小倉北区	3人	66.7%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	66.7%
	小倉南区	8人	50.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	37.5%
	若松区	4人	75.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡東区	6人	66.7%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%
	八幡西区	5人	20.0%	60.0%	20.0%	40.0%	40.0%	0.0%
	戸畑区	0人	—	—	—	—	—	—

全体では、「市政だより」など県や市が発行する定期刊行物(56.7%)という回答が最も多く、次いで「その他」(23.3%)、「市耐震改修工事費等補助制度のパンフレット」(20.0%)となっている。

「その他」としては、「テレビのニュースを見て」や「市担当部局のセミナーに参加して」等の意見があった。

問12 万が一の事態に備え、お住まいの耐震診断や耐震補強を考えたいと思いますか。



		回答者数	思う	思わない	分らない
全体		140人	50.0%	16.4%	33.6%
性別	男性	48人	52.1%	16.7%	31.3%
	女性	92人	48.9%	16.3%	34.8%
年齢別	20歳代	17人	64.7%	5.9%	29.4%
	30歳代	33人	48.5%	27.3%	24.2%
	40歳代	27人	44.4%	7.4%	48.1%
	50歳代	24人	62.5%	12.5%	25.0%
	60歳代	25人	20.0%	24.0%	56.0%
	70歳以上	14人	78.6%	14.3%	7.1%
区別	門司区	17人	52.9%	29.4%	17.6%
	小倉北区	24人	37.5%	16.7%	45.8%
	小倉南区	30人	40.0%	23.3%	36.7%
	若松区	13人	53.8%	15.4%	30.8%
	八幡東区	13人	69.2%	0.0%	30.8%
	八幡西区	30人	56.7%	16.7%	26.7%
	戸畑区	13人	53.8%	0.0%	46.2%

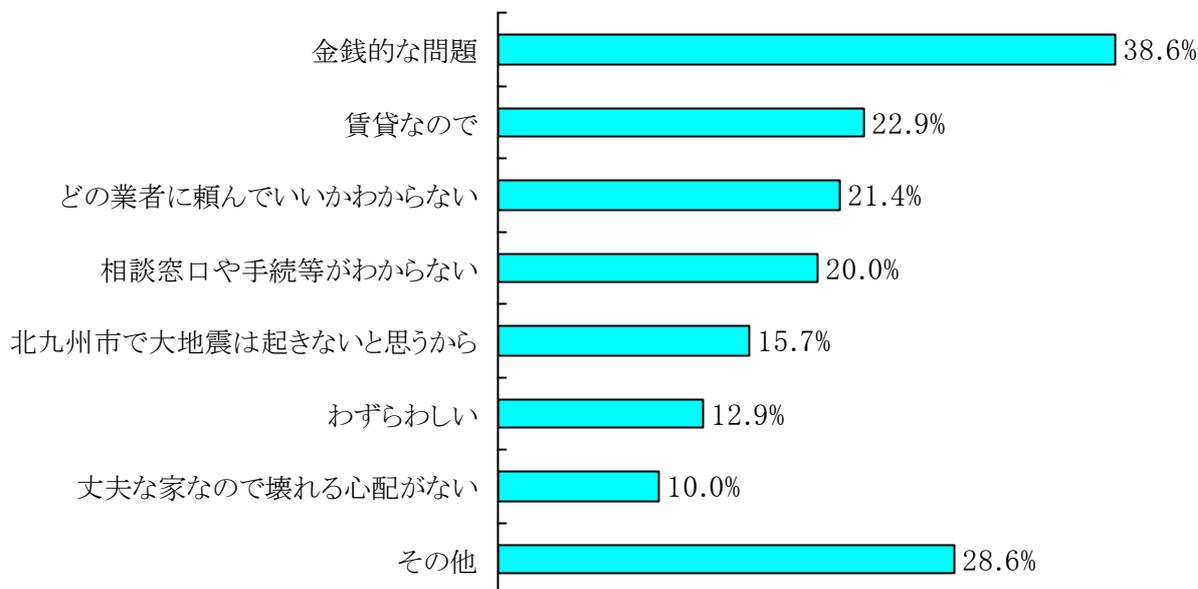
全体では、50.0%の方が、万が一の事態に備え、住まいの耐震診断や耐震補強を考えたいと「思う」と回答している。これは、「分らない」「思わない」と回答した方の合計と同じ割合になっている。

年齢別では70歳以上で「思う」が78.6%と最も高く、30歳代で「思わない」が27.3%と最も高い回答となっている。

行政区別では、八幡東区で「思う」が69.2%と最も高く、門司区で「思わない」が29.4%と最も高い回答となっている。

問13【問12で「2 思わない」「3 分からない」のいずれかを回答した方にお尋ねします】

問12で、「2」または「3」を選んだ理由は何ですか。《複数選択可》

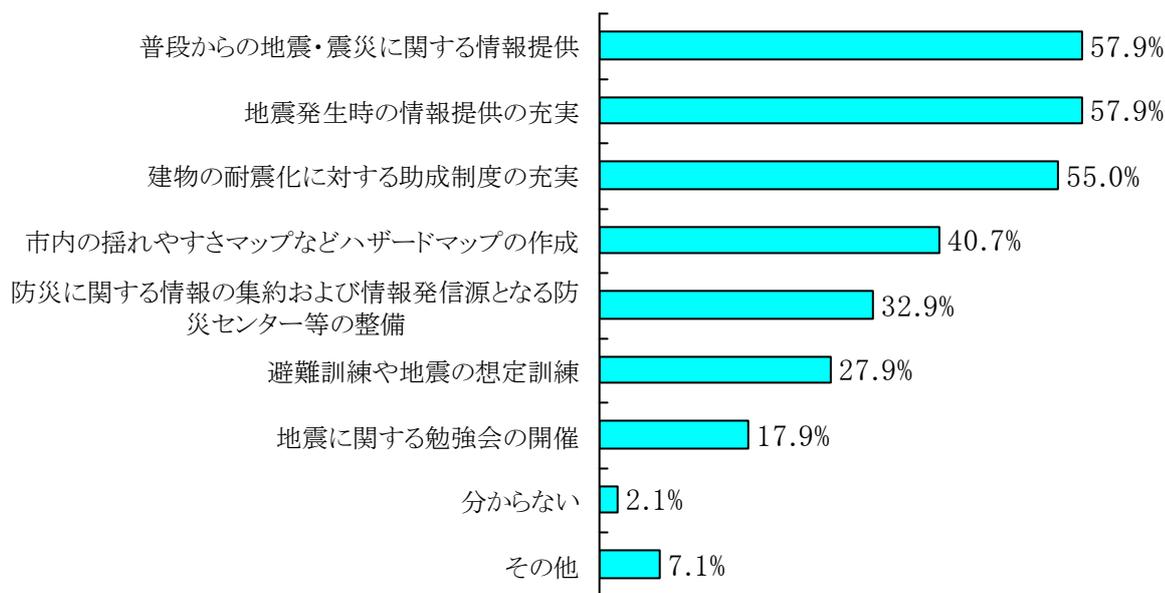


	回答者数	金銭的な問題	賃貸なので	どの業者に頼んでいいかわからない	相談窓口や手続等がわからない	北九州市で大地震は起きないと思うから	わずらわしい	丈夫な家なので壊れる心配がない	その他	
全体	70人	38.6%	22.9%	21.4%	20.0%	15.7%	12.9%	10.0%	28.6%	
性別	男性	23人	52.2%	4.3%	13.0%	4.3%	21.7%	17.4%	13.0%	26.1%
	女性	47人	31.9%	31.9%	25.5%	27.7%	12.8%	10.6%	8.5%	29.8%
年齢別	20歳代	6人	50.0%	50.0%	66.7%	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%	16.7%
	30歳代	17人	11.8%	41.2%	5.9%	17.6%	5.9%	0.0%	0.0%	35.3%
	40歳代	15人	46.7%	13.3%	33.3%	40.0%	13.3%	6.7%	6.7%	33.3%
	50歳代	9人	22.2%	22.2%	11.1%	0.0%	22.2%	11.1%	22.2%	44.4%
	60歳代	20人	50.0%	10.0%	20.0%	20.0%	20.0%	25.0%	15.0%	20.0%
	70歳以上	3人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	33.3%	0.0%
区別	門司区	8人	25.0%	37.5%	37.5%	37.5%	25.0%	12.5%	0.0%	12.5%
	小倉北区	15人	33.3%	6.7%	13.3%	20.0%	13.3%	6.7%	6.7%	46.7%
	小倉南区	18人	38.9%	27.8%	22.2%	11.1%	22.2%	16.7%	11.1%	27.8%
	若松区	6人	33.3%	33.3%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%
	八幡東区	4人	25.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	25.0%	25.0%	50.0%
	八幡西区	13人	53.8%	15.4%	15.4%	7.7%	7.7%	15.4%	23.1%	23.1%
	戸畑区	6人	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%

全体では、「金銭的な問題」(38.6%)が最も多く、次いで「その他」(28.6%)、「賃貸なので」(22.9%)の順となっている。「その他」としては、「建築してからあまり年数が経っていない」や「いずれ建て替える予定」、「マンションなので個人の意見では決められない」等の意見があった。

なお、「北九州市で大きな地震は起きないと思うから」(15.7%)や、「丈夫な家なので壊れる心配がない」(10.0%)などの回答もあった。

問14 あなたが今後、国や自治体に取り組んで欲しい地震対策はどのような対策ですか。  
《複数選択可》



	回答者数	普段からの地震・震災に関する情報提供	地震発生時の情報提供の充実	建物の耐震化に対する助成制度の充実	市内の揺れやすさマップなどハザードマップの作成	防災に関する情報の集約および情報発信源となる防災センター等の整備	避難訓練や地震の想定訓練	地震に関する勉強会の開催	分からない	その他	
全体	140人	57.9%	57.9%	55.0%	40.7%	32.9%	27.9%	17.9%	2.1%	7.1%	
性別	男性	48人	60.4%	52.1%	52.1%	37.5%	20.8%	33.3%	18.8%	4.2%	12.5%
	女性	92人	56.5%	60.9%	56.5%	42.4%	39.1%	25.0%	17.4%	1.1%	4.3%
年齢別	20歳代	17人	64.7%	70.6%	76.5%	47.1%	41.2%	17.6%	11.8%	0.0%	5.9%
	30歳代	33人	51.5%	48.5%	48.5%	45.5%	21.2%	27.3%	15.2%	0.0%	6.1%
	40歳代	27人	44.4%	63.0%	63.0%	37.0%	33.3%	14.8%	11.1%	3.7%	3.7%
	50歳代	24人	58.3%	54.2%	54.2%	41.7%	37.5%	25.0%	8.3%	4.2%	8.3%
	60歳代	25人	60.0%	60.0%	48.0%	44.0%	28.0%	36.0%	32.0%	0.0%	8.0%
	70歳以上	14人	85.7%	57.1%	42.9%	21.4%	50.0%	57.1%	35.7%	7.1%	14.3%
区別	門司区	17人	47.1%	76.5%	52.9%	41.2%	29.4%	29.4%	17.6%	5.9%	5.9%
	小倉北区	24人	62.5%	70.8%	37.5%	41.7%	37.5%	37.5%	12.5%	4.2%	8.3%
	小倉南区	30人	60.0%	60.0%	53.3%	30.0%	43.3%	26.7%	6.7%	0.0%	10.0%
	若松区	13人	46.2%	30.8%	69.2%	30.8%	23.1%	7.7%	7.7%	0.0%	7.7%
	八幡東区	13人	46.2%	61.5%	69.2%	61.5%	30.8%	30.8%	23.1%	0.0%	7.7%
	八幡西区	30人	63.3%	50.0%	63.3%	36.7%	20.0%	26.7%	36.7%	3.3%	6.7%
	戸畑区	13人	69.2%	46.2%	46.2%	61.5%	46.2%	30.8%	15.4%	0.0%	0.0%

全体では、「普段からの地震・震災に関する情報提供」「地震発生時の情報提供の充実」(57.9%)が最も多く、次いで「建物の耐震化に対する助成制度の充実」(55.0%)、「市内の揺れやすさマップなどハザードマップの作成」(40.7%)の順となっている。

年齢別では、70歳以上で「普段からの地震・震災に関する情報提供」(85.7%)、20歳代、40歳代で「地震発生時の情報提供の充実」や「建物の耐震化に対する助成制度の充実」が高い。

行政区別では、門司区、小倉北区で「地震発生時の情報提供の充実」、若松区、八幡東区で「建物の耐震化に対する助成制度の充実」、八幡東区、戸畑区で「揺れやすさマップなどハザードマップの作成」が高い。

## 問15 住宅の耐震化に関することで、ご意見・ご要望などがあればご記入ください。

住宅の耐震化について101件のご意見、ご要望の中から主なものを抜粋し、要旨をまとめさせていただきました。

### 耐震に関する意識の啓発や情報提供について

- ・ 耐震の必要性を広く市民が理解し、行動できるよう、知識の普及をお願いしたい。  
【小倉南区 30代 女性】
- ・ 住宅の耐震化について知らない人は多いと思う。地震等、災害が起こった時に多くの人が犠牲にならないよう、知識を頭に入れておくのと良いと思った。ケーブルテレビ等、市の番組で特集してほしい。  
【小倉北区 20代 女性】
- ・ 地震に対する知識と防災意識は必要と思いながら、現実感が薄く意識は低い。住宅の耐震化も必要と思いつつ、具体的に何をどうすれば良いのか分からない。耐震化の具体策等、知ることが出来たら良いと思う。  
【小倉南区 50代 男性】
- ・ 耐震化等に対し興味が無いというよりは、自分の住む地域では地震は無いだろうと思って安心している。また、何も知識が無いと、勉強会等に参加するのも抵抗があるので、少しずつ知識を増やしていきたい。  
【若松区 20代 女性】
- ・ 市政だよりで繰り返し防災を呼びかける。福岡西方沖地震を体験しているので、地震は身近なものということを知ってもらおう。  
【八幡西区 70代 男性】
- ・ 地域ごとに消防と連携した訓練や、講座などあれば良いと思う。  
【八幡西区 20代 女性】
- ・ 耐震改修をした事例など、市民に情報提供して欲しい。補強方法や、概算工事費など。  
【小倉北区 30代 女性】

### 耐震化に関する助成等、支援策について

- ・ 耐震診断を受けて耐震性が確保されていると判断された住宅について、耐震性を保障するようなマークを作り、住宅に貼り付けるようにしてもらいたい。  
【小倉南区 40代 女性】
- ・ 耐震診断アドバイザーや補助制度があることを知らなかった。私以外にもこのような制度があることを知らない人が大勢いるのではないかと思う。  
【小倉南区 70代 女性】
- ・ 他の地域で地震が起きた際は少し意識することもあるが、心のどこかで「北九州は大丈夫」とっており、住宅の耐震化まではなかなか考えない。住宅を耐震補強するには費用がかかるので、補強費については無料にしてくれればと思う。  
【戸畑区 40代 女性】
- ・ 市内限界集落の高齢化や老朽家屋の問題とからめ、古い住宅の耐震化に補助金を出すのではなく、郊外から街中への住み替えを促進すべき。  
【八幡東区 30代 男性】
- ・ 色々なことに対応出来る専門家、例えば「地震アドバイザー」による巡回家庭訪問や、安心して頼める耐震診断、耐震補強工事の施工業者の紹介等やってはどうか。  
【八幡西区 60代 男性】

## 住宅(建物)の耐震化について

- ・ 震災直後の神戸に行ったが、古い家屋ほど倒壊していた。老朽化した建築物を優先的に対策すべき。  
【門司区 40代 男性】
- ・ 賃貸物件だと個人での対策が難しいので、建物の持ち主に耐震化を義務付けてほしい。  
【小倉北区 30代 女性】
- ・ まず、自分の家の地震に対する対策について、きちんと家族で確認しようと思った。  
【小倉北区 50代 女性】
- ・ 耐震が必要な基準がわからない。  
【門司区 40代 女性】
- ・ 北九州に住んで約45年が経つが大きな地震に遭遇したことがなく、また、あるハウスメーカーで建てた自宅も地震に強いとされているため、危機感は薄いと思う。  
【八幡西区 60代 男性】
- ・ 住まいが共同住宅なので、住民全員が協力して対策を考える必要がある。耐震化は地域の状況にも左右されると思う。  
【八幡西区 70代 男性】

## 防災等に関する情報提供等について

- ・ 高齢者が住む住宅ほど耐震化の必要性が高いと思うが、現実的に費用面等の問題で難しいのではないかなと思う。耐震化は必要だと思うが、それよりも、普段からの災害に対する意識付けと、速やかな避難対策(避難経路、避難場所の確保)等が必要なのではないかなと思う。  
【八幡東区 50代 男性】
- ・ 市内に活断層があることは知っているが、自分の住んでいる場所が活断層の影響を受ける場所なのかどうかなど、まったく知らない。まずそういう情報を知りたい。知ることによって地震対策が違ってくると思う。市内のどの辺りでどの様な被害が想定されるかなど、ハザードマップ等を示し、注意を呼びかけ地震への関心と呼び覚まして欲しい。  
【八幡西区 60代 男性】

## その他

- ・ 一級建築士の中の耐震化対応の技術者が少ないと聞く。この部門の対応を進めるべき。  
【八幡西区 60代 男性】
- ・ 「住宅の耐震化を」と住んでいる人に言うよりも、建てる段階できちんと建てるよう指導してほしい。  
【八幡東区 40代 女性】

## IV 全体考察

### 【北九州市耐震改修促進計画の認知度について】

平成 21 年 3 月に策定した「北九州市耐震改修促進計画」の認知度については、約9割の人が「知らない」と回答しており、認知度の低さを示す結果となった。

年齢別では60歳代以上の年齢層における認知度が比較的高く、その他の年齢層ではあまり知られていない結果となった。

また、「北九州市耐震改修促進計画」を知った方法は、「市政だより」など市が発行する定期刊行物によるものが半数以上を占めており、市のホームページなど電子的な媒体よりも、紙面によるものの方が、情報を目にする機会が多いことが伺える。年齢層別に見ても同様な事が伺え、年齢層が高いほど、電子的な媒体による認知度が低い結果となった。

### 【住宅のタイプおよび築年数について】

住まいのタイプについては、木造戸建て住宅(持家)が 43.6%、非木造共同住宅(持家)が 20.0%と、全体の6割強の方が、耐震改修補助制度の対象となる住宅(住宅の種類によるもののみ該当)にお住まいであることが分かった。

行政区別に見ると、木造戸建ておよび非木造共同住宅を併せた持家の率は、戸畑区を除き、どの区も6～8割弱を占めているが、戸畑区では非木造共同住宅(賃貸)が 53.8%と、他の行政区よりも高い結果であった。

また、現在お住まいの住宅の建築時期については、「旧耐震基準」で建てられた昭和56年以前の住宅が 37.1%と4割弱を占めており、そのうち70歳代以上では 85.7%、50歳代～60歳代においても 4割強、と高い割合を占める結果となった。

耐震改修をする必要性が高い昭和56年以前に建築された住宅を取得した時期(年齢)を考慮すると、この結果は当然といえるが、補助制度等の周知を図るべき年齢層が、主に現在の50歳代以上の方であることが分かった。

### 【地震に対する意識について】

今回のモニターアンケートによると、74.3%の方が阪神・淡路大震災時に旧耐震基準で建てられた建物に被害が多く見られたことを知っており、また、90.8%の方が前出の大震災や福岡西方沖地震などと同規模の大地震が北九州市で起きた際、自宅が「倒壊または半壊」もしくは「何らかの損傷」を受けるのではないかと不安を感じているという結果であった。

しかしながら、北九州市で前出の地震と同規模以上の地震を体験するかという質問や北九州市内に活断層があることを知っているか等の質問については、「思う」や「知っている」の回答がいずれも5割弱にとどまっており、大地震に対し不安を感じながらも、どこかで「北九州市は大丈夫」という安心感を持っている方も多い事が伺える。

また、地震対策については、「避難場所や避難経路の確認」や「地震保険の加入」など、地震発生後の対策を取っているという回答は多く見られたが、「自宅の耐震性の確認、補強をしている」という回答は賃貸にお住まいの方も多数含まれているため一概には言えないものの、全体的にみて 4.3%と低く、地震への予防意識が低い事が伺える。

### 【支援制度の認知度や自宅の耐震化について】

「耐震診断アドバイザー」や「耐震改修工事費等の補助」の支援策については、両方もしくはいずれか知っているという方は併せても2割程度と認知度は低く、ほとんどの方が「両方とも知らない」という回答であった。

また、万が一の事態に備えた住まいの耐震診断や耐震補強については50.0%と半数の方が「考えたい」という回答であったが、「思わない」と答えた16.4%の方の理由としては、「金銭的な問題」である方が38.6%で一番高く、次いで「どの業者に頼んでいいかわからない」や「相談窓口や手続き等がわからない」等、耐震化を図りたい気持ちはあっても手段についてわからないという方がそれぞれ約2割、「北九州市で大地震は起きない」や「わずらわしい」等、耐震化に関して消極的な意識によるものが併せて3割弱という回答であった。

また、今後自治体に取り組んで欲しい地震対策としては、全体的に地震に関する様々な情報提供を望む回答が多いなか、建物耐震化に対する助成制度の充実についても55.0%の方が望んでいるという回答であった。

### 【まとめ】

日本は地震国で、地震はいつでもどこでもおかしくない災害であるが、これまでの北九州市における地震災害の経験値の低さから、私達は地震に対する知識があまり無く、また、地震発生についても「北九州市は大丈夫」というような、根拠の無い「安心感」を持っているように伺える。

しかし、ひと度起こるとその被害は甚大で、多くの生命や財産を奪うことになる地震に対し、日ごろからの防災意識と、万が一の事態に備えた地震対策は必要であり、中でも様々な災害や障害から私たちを守り、まちの安全を確保することに繋がる、住宅や建築物の耐震化は大変重要なことであると言える。

今回のモニターアンケートにおいては、住まいの築年や持家か賃貸かで意識の差があると推測されるが、全体的に地震や住宅耐震化への意識は高いとはいえない結果であった。

また、国や自治体が行う耐震化促進の取り組みについての認知度も低いことが伺えることから、今後は施策や支援策の認知度向上を図るため、効果的な広報手段の検討と住宅耐震化に対する意識の啓発を行い、皆様からの多数の貴重なご意見を参考にして、関係部局との連携や耐震補助制度の充実を図る等、更なる住宅耐震化促進の取り組みを進めて参りたい。

【市政モニターに関すること】

総務市民局市民部広聴課(TEL:582-2525)

【アンケートに関すること】

建築都市局建築指導課(TEL:582-2531)